

第6章 訓練計画及びBCPの見直し

1 訓練計画

上下水道BCPの実効性を高めるため、以下の訓練を計画的に実施する。

訓練名称	訓練概要	対象者	実施場所	企画実施担当
参集訓練	災害発生を想定した職員の非常参集訓練	全水道局職員	水道局 本庁舎等	主幹(防災・企画調整担当) 総務課
安否確認訓練	災害発生を想定した職員の安否を確認する訓練	全水道局職員		
情報伝達訓練	災害発生を想定した水道局本庁舎と水道局外部庁舎、市役所他部局、他の自治体、民間企業等との情報伝達訓練	水道局各班 関係機関		
実地訓練	災害発生を想定した仮設ポンプの運転確認、土嚢の設置、仮設発電機運転等の実地訓練	水道局各班 関係機関	各現場	主幹(防災・企画調整担当) 水道局各班
図上訓練	災害発生を想定した上下水道BCP等の対応手順に基づく屋内訓練	水道局各班 関係機関	水道局 本庁舎等	

2 BCPの見直し

計画は、実災害での教訓・検証や防災訓練等で抽出された問題点等を踏まえて、継続的に見直しを行っていく必要がある。

また、システムの堅牢化、人員配置の更新など、対策の実施状況によって前提条件が変化していくので、これを踏まえた見直しも必要となる。

そのため、上下水道BCPについては、基本的に毎年度、検証を進めていくことで、より実効性の高いものとする。

(1) BCPのマネジメント体制

上下水道BCPの見直しに当たっては、訓練等により抽出された問題点等を踏まえて、各対策班長を中心に、災害での教訓・検証や防災訓練等をおして評価を行い、必要に応じて見直しを行う。

なお、取りまとめは主幹(防災・企画調整担当)が行う。

(2) BCPの見直し・改善

前項で示した上下水道BCPのマネジメント体制により、防災対策の立案(計画:Plan)、対策の実施(実施:Do)、対策効果の評価(検証:Check)、計画の見直し・改善(見直し:Act)により構成されるPDCAサイクルを構築し、それを着実に推進していくこととする。

また、このサイクルの中では、計画を実際に行う職員が自ら取り組むべき行動を理解した上で、平時から上下水道BCPに対する意識の向上に努める。

このようなPDCAサイクルに基づき、基本的には毎年度、見直し・改善を行うものとする。

また、小樽市地域防災計画を始めとする関連計画などとの整合性の観点から必ず内容の整合を確認し、双方において必要な見直しを行うものとする。

